

(参考様式 5 - 1)

十勝地区活性化計画 改善計画書

平成 24 年 8 月 22 日作成

都道府県名	計画主体名	地区名	計画期間	実施期間
北海道	広尾町ほか 17市町村	十勝地区	平成21年度～ 平成23年度	平成21年度～ 平成22年度
事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体	
乾燥調製貯蔵施設	小麦貯蔵施設 1,000t × 27基		農協サイロ(株)	

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率(%) B / A	備考
地域農産物の販売量の増加	17.5%	-24.7%	-141%	秋まき小麦

2 目標が達成されなかった要因

計画期間である平成21年産については、6月～7月にかけての低温・多雨による低収、平成22年産及び平成23年産は春先の低温や夏場の猛暑による影響で成熟に十分な期間を確保できず細麦が多く発生するなどの要因で低収及び製品率が低率となり、計画期間中において収量・製品量が十分得られた年がなかったことから、目標の達成率については低い状況となった。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度	26年度
事業の推進体制	生産者・農協との連携による体制(現行どおり)
具体的取組方策	当該目標の達成については、気象条件等によるものであり、計画時の収量(10a当たり715kg程度)が確保された時には、事業による販売量増加が期待され、事業効果を得られると考えている。

4 改善計画に対する第三者の意見

(コメント)  
気象条件に左右されにくい小麦作について、十勝農業試験場の技術情報や十勝農業改良普及センターの調査結果に基づき地域に合った栽培技術を組み立て、生産者に周知を図っている。  
その結果、平成24年産以降において平年並み以上の収量を確保できる場合は、本目標値の達成及び事業効果が得られると推測できる。

(十勝農業改良普及センター 五十嵐龍夫)